

地球温暖化にともなって増加傾向に

# 台風



北太平洋で発達して中心付近の最大風速がおおよそ毎秒17m(風力8)以上になったものを「台風」と呼びます。

## 台風の規模

台風の勢力は「強さ」「大きさ」で紹介されます。

強さの階級	最大風速
強い	33~44m/秒
非常に強い	44~54m/秒
猛烈に強い	54m以上/秒

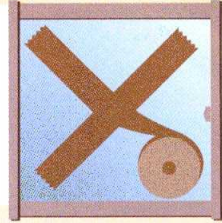
  

大きさの階級	風速毎秒15m以上の半径
大型(大きい)	500~800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

## こんなときどうする？

### 屋内では？

窓ガラスの飛散を防ぐためにガラスにテープを貼っておく。



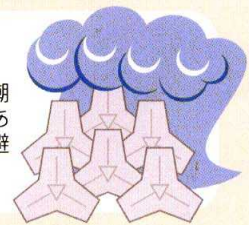
### 路上では？

看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの建物の中に避難する。



### 海辺では？

海への転落や高波、高潮に巻き込まれる危険があるので、すぐに高台に避難する。



基本をチェックして慌てずに行動を

# 地震



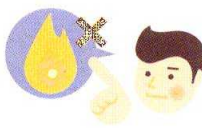
日本は地震大国。日ごろから地震に備え、いざというための基本的な知識を身につけることも重要です。

## 大きな地震が起きたときの行動

地震が起きたときは次のことを参考に落ち着いて行動しましょう。



落ち着いて身を守る  
頭を保護する



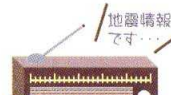
揺れがおさまったら  
火もとを確認する



ドアや窓を開けて  
逃げ道を確保する



近所の安全確認をし、  
お年寄りに声を掛ける



テレビ・ラジオなど  
で情報を確認する



家屋倒壊などの危険  
があれば避難する

地震の後、しばらくは余震が続くので落ち着いて行動してください。また、沿岸部にお住まいの方は津波情報にもご注意ください。

## 緊急地震速報を見聞きしたときは

緊急地震速報は、平成19年10月1日からテレビ・ラジオで放送が開始されています。情報を見聞きしてから地震の強い揺れがくるまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことを第一に行動しましょう。

## 地震の規模

地震の強さは10段階に分けられています。

震度	地震の揺れと被害想定
0	揺れを感じない
1	敏感な人が揺れを感じる
2	室内にいる人の多くが揺れを感じる
3	つりさがった電灯が大きく揺れる
4	部屋の不安定な家具が倒れる
5 弱	食器や本が落ちたりガラスが割れる
5 強	タンスなど重たい家具が倒れる
6 弱	立っていることが難しいほどの揺れ
6 強	はわないと動くことができないほどの揺れ
7	大きな地割れや地滑りが発生する